

教師ノート

週課	第三年 第五課 第四週
単元	ペンテコステ
テーマ	聖霊を受けなさい
タイトル	バルナバ～慰めの子
テキスト	使徒9:26-28、15:36-41、11:22-24
参照箇所	使徒11:22-24、Ⅱテモテ4:11
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	使徒11:24
AG 日曜学校教案参照箇所	小上 3 卷(1)5 課、中学 3 卷(1)3 課、中学 3 卷(1)6 課
□導入	みなさんには、どんなニックネームがありますか？今日は、ヨセフという本名ではなく、バルナバというニックネームで呼ばれた人のお話です。
□ポイント1 バルナバは聖霊に満たされていました(使徒4:36、11:22-24)	ヨセフと言えば、創世記に出てくる 12 人兄弟の1人でエジプトに奴隷として売られてやがて総理大臣になったヨセフ、そしてイエス様の育ての父であるヨセフを思い出すでしょう。今日みんなに紹介したい人もヨセフさんなのですが、このヨセフさんはバルナバと呼ばれていました。バルナバっていうのは「慰めの子」という意味があります。本名のヨセフとバルナバが結びつかないくらい、当たり前のようにバルナバと呼ばれているほど、この人は人々を慰め、励ます人でした。このバルナバさんは、慰め主・助け主である聖霊に満たされた人だったから、人々を慰めたり励ましたりすることができました。
☞「慰めの子」は「パラクレシス」という言葉で、聖霊の別名である「助け主」(ヨハネ 14:16)の「パラクレトス」と同じ語源です。新改訳聖書の欄外(ヨハネ 14:16)によると、「パラクレトス」は、援助のためにそばに呼ばれた者、とりなしてくれる人のこと。	
□ポイント2 バルナバは、サウロを助けました(使徒9:26-28)	かつてサウロはクリスチャンを迫害していた人だったので、みんなはサウロがイエス様を信じて弟子になったことを信じられないで恐れていました。しかし慰めの子と呼ばれるバルナバは、サウロをみんなのところに連れて行き、サウロがクリスチャンを迫害する人からイエス様を大胆に語る人になったことを説明しました。その結果、サウロはみんなと一緒に神様の働きをすることができるようになりました。このサウロはやがてパウロと呼ばれて、世界中の人々にイエス様を伝えたり、新約聖書になっている手紙などを記したり、大きな働きをしました。そのきっかけとなったのは、聖霊に満たされていたバルナバが、サウロに対する誤解をとり、サウロを助けたことでした。
☞「サウロ」は、パウロのヘブル名(ユダヤ名)のことで、「パウロ」はギリシア語名(ローマ市民名)です。使徒の働き13:9では「別名パウロ」と紹介され、それ以降は回想場面以外すべてパウロと呼ばれています。(「エッセンシャル聖書辞典」、「新聖書注解」参照)	
□ポイント3 バルナバは、マルコを励ました。(使徒15:36-39、Ⅱテモテ4:11)	パウロとバルナバは、第 2 回目の伝道旅行に出かけることになりました。バルナバはマルコを連れて行きかけたのですが、パウロは第 1 回目の伝道旅行の途中で帰ったマルコを連れて行くことに反対しました。しかしバルナバはマルコを見捨てることなく、マルコと一緒にキプロス島へ伝道に行きました。このようにバルナバはマルコを励まして育てる働きをしたので、やがてパウロからも「マルコは役に立つ人

です」と信頼される人に成長していきました。

☞ マルコは、ヨハネ・マルコと呼ばれている人物です。バルナバとはいとこの関係でした(コロ4:10)。ペテロの弟子と言われることもあり、ペテロから聞いたことなどを書き写したのがマルコの福音書だと言われています。まさに「役に立つ人」として成長していきました。(「エッセンシャル聖書辞典」参照)

□ **結論** 聖霊に満たされている人は、人を慰め、助け、励ますことができます。

☞ 神は愛です。だから神の愛の中にいる者は人を愛するようになります(Iヨハネ 4 章)。同じように、聖霊は私たちを励まし慰め助けます。その聖霊に満たされるとき、自分自身が慰められる、励まされるというところに留まらず、人を慰め励まし助ける者になることができるのでしょ

□ **適用** (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

みんなから嫌がられたり、仲間外れにされている人が周りにいませんか？失敗したり、苦手なことがあって悩んでいる人が周りにいませんか？その人のために祈って聖霊の力を頂いて、励ますために声をかけたり、手紙を書いたり、教会学校に誘ってみましょう。バルナバが、サウロ(パウロ)やマルコが主に用いられていくための助けになったように、あなたも聖霊の力を頂いて、誰かを慰め、励ますことができます。

(1)聖霊は、あなたをバルナバのように用いたいと願っています。今、神様があなたの友だちや家族の誰かのことを「励ましてくれないだろうか？」「助けてあげてくれないだろうか？」と願っている人がいると思います。どの人のことを思い浮かべますか？

(2)今、その人のために何ができるかを考えてみよう。どうすれば、その人の助けになり、励ましになるだろうか？

(3)聖霊は、人を慰め、励まし、助ける力を与えてくれます。今、私たちにその力が与えられるように一緒にお祈りをしましょう。